

2026年度

教育推進機構 副専攻コース履修案内

《学部学生用》

(2025年度以降入学者対象)

本コースは、登録日本語教員養成機関及び登録実践研修機関として文部科学大臣の登録を受けており、2025年度以降入学者については、本コースを修了した場合、養成課程及び実践研修の修了証書が交付されます。

登録日本語教員制度の概要等については、以下の日本語教育機関認定法ポータルサイトをご参照ください。

<https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/top>

岡山大学教育推進機構

目次

1	履修申請等について	2
2	カリキュラムについて	5
3	修了要件について 2025・2026年度入学者に適用	7
4	2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割	8

1 履修申請等について

1 開設コース

教育推進機構では、副専攻コースとして「日本語教育コース」を開設しています。

岡山大学教育推進機構副専攻コース（日本語教育コース）（以下「本コース」という。）は、日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、日本語学習を必要とする人への教育に従事できる人材の育成を目指しています。本コースは2024年4月1日施行の「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律（令和5年法律第41号）」が定める「登録日本語教員養成機関」及び「登録実践研修機関」として文部科学大臣の確認を受けており、「日本語教育実習」の科目が実践研修に該当します。

本コースの履修者には、日本語教育をめぐるさまざまな事象に対する問題意識を持ち、その解決に向けて知識や情報を論理的に関連付けて自らの考察や分析を深めていく主体的な取り組みが求められます。

※登録日本語教員制度の概要等については、以下の日本語教育機関認定法ポータルサイトをご参照ください。

<https://www.nihongokyouiku.mext.go.jp/top>

日本語教育コースの詳細については、5ページ以降をご参照ください。

2 履修対象者および受入人員

履修対象者は、次の学部の学生で、所属学部の長が認めた者（ただし、日本語を母語としない者の場合は、日本語能力試験N1の資格を有する者）とします。各学部の判定方法は、4ページ「各学部履修対象者判定方法」のとおりです。

① 文学部 ② 教育学部 ③ グローバル・ディスカバリー・プログラム

なお、次の学部の学生は、所属学部のカリキュラムとの関係から、副専攻コースを履修することはできません。

① 法学部 ② 経済学部 ③ 理学部 ④ 医学部 ⑤ 歯学部 ⑥ 薬学部
⑦ 工学部 ⑧ 農学部

受入人員：学部学生と科目等履修生を合わせて計10人

※定員を超えた場合、全学GPA上位10人に履修を許可することとします。

3 履修の申請方法

副専攻コースの履修を希望する場合は、次の表に示す時期に、所定の「副専攻コース履修申請書」（所属学部教務担当で受け取ってください。）により、所属学部の教務担当で申請手続を行ってください。

なお、日本語を母語としない者の場合は、申請にあたり、日本語能力試験N1の合格証明

書の提出が必要です。

入学時期	申請時期	提出先
4月入学	申請の時期は、 <u>1年次</u> の次の期間です。 2026年4月入学者の申請期間 《2026年11月16日(月)～11月27日(金)まで》	所属学部の 教務担当
10月入学	2026年10月入学者は、2027年度の申請となります。 具体的な申請時期は、2027年度の履修案内で確認してください。	所属学部の 教務担当

注) 申請時期は原則として1年次(10月入学者は2年次)ですが、所属学部の長が認める場合は、2年次以降にも申請が可能です。この場合の申請期間は、上記と同じです。2027年度の申請期間は、来年度の履修案内で確認してください。

4 履修の許可

履修の許可は、教育推進機構が、所属学部の長から本コース履修に係る申請があった者について、審査を行い決定します。

審査結果の通知は、所属学部の教務担当を通じて行います。

通知方法・時期については、教務担当から別途掲示等により指示があります。

5 履修の開始時期

本コースの履修の開始は、原則として2年次の第1学期からですが、本コースは、教育効果等を勘案して、副専攻コースの履修が許可される前であっても、1年次第1学期などの早い段階から、対象科目の一部を履修することができます。

早い時期からの履修の可否については、5ページ「**2** カリキュラムについて」をご確認ください。

早い時期から履修している場合であっても、1年次(10月入学者は2年次)の11月の申請時期に「**3** 履修の申請方法」による申請手続きが必要です。

なお、本コースの授業科目の履修時期は、7ページ以降の「**3** 修了要件について」を参照してください。

6 履修方法等

5ページ「**2** カリキュラムについて」及び7ページ以降の「**3** 修了要件について」を参照の上、修了要件を満たすように科目を履修してください。修了要件は、入学年度によって異なります。

履修登録は、本コース対象科目以外の科目と同様、各自で学務情報システムから行っ

てください。一部、抽選を実施する科目もありますので、注意してください。

2026年度日本語教育コース対象科目の講義番号及び開講曜日時限については、8ページ以降の「**4** 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割」に記載しています。授業科目の詳細については、各自でシラバス・時間割等により確認してください。

7 修得単位の取扱い

本コースで修得した授業科目・単位の扱いは、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱いによります。

所属学部の卒業要件単位となっている科目が、同時に本コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と本コース修了要件単位の双方にカウントします。

8 修了証書の授与

本コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。（修了に当たって、手続等は不要です。）

また、本コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書（副専攻コースの全修得科目も記載）」を交付します。

9 その他の留意事項

所属学部の卒業が決定した場合は、本コースの履修が途中であっても卒業となりますので、学部学生として本コースの履修を続けることはできませんが、卒業後、科目等履修生として履修を続けることが可能です。

※科目等履修生は、正規の学生と異なり、大学で開設されている授業科目のうち、必要な授業科目や興味関心のある授業科目だけを選んで履修する制度です。

●各学部履修対象者判定方法（1年次の申請 注：10月入学者は2年次の申請）

学部（等）	判定方法
文学部	1年次第3学期終了時までに22単位以上を修得した者。
教育学部	1年次第3学期終了時までに30単位以上修得（評語が「修了」及び「認定」の単位を含む。）し、GPAが2.7以上であること。
グローバル・ディスカバリー・プログラム	4月入学者は1年次第3学期終了時までに23単位以上、10月入学者は2年次第3学期終了時までに38単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上である者で、日本語による講義を受講するための日本語能力を有する者。（日本語能力試験等の成績の提出を課すことがあります。）

2 カリキュラムについて

コース修了要件単位を満たす上で履修する必要がある科目は、下記の2種類に分かれます。

履修登録は、他の科目と同様、自身で学務情報システムから行ってください。（抽選対象科目となっている場合がありますので、その場合は忘れずに抽選登録期間中に希望登録を行ってください。）

必修科目	<p>日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能養成のための科目です。</p> <p>指定された全ての単位を修得する必要があります。</p> <p>特定の科目を履修済みでない履修できない科目がありますので、注意してください。</p> <p>本コースの履修が許可された学生のみ、履修登録が可能な科目と、本コースの履修が許可される前からでも履修が可能な科目があります。</p> <p>※「日本語教育実習」の科目が、「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律（令和5年法律第41号）」が定める実践研修に該当します。</p>
選択科目	<p>日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。</p> <p>「登録日本語教員実践研修・養成課程コアカリキュラム」で示された養成課程の「必須の教育内容」49項目の関連科目から12単位を修得する必要があります。</p> <p>2026年度の指定科目は、8ページ以降をご確認ください。履修の順番に指定はありません。</p> <p>本コースの履修が許可される前からでも履修が可能です。</p>

☆2026年度入学者 履修モデルの例（2026年4月入学者を例としています。）

2027年度以降の開講科目及び開講学期については予定ですので、変更となる場合があります。

年次	学期	手続等	履修科目	
			必修科目 (合計 14 単位)	選択科目 (合計 12 単位)
1 年次 2026 年度	第 1～3 学期		注) 参照	
	第 4 学期	コース履修申請 (所属学部宛)		
2 年次 2027 年度	第 1 学期	コース履修開始	日本語学概論 1 ★日本語教授法概論 ★日本語教育学概論	
	第 2 学期		日本語学概論 2 ★第二言語習得論 ★言語と社会	
	第 3 学期		日本語教材研究 1 ★異文化の中の心理と支援 ★言語学概論	
	第 4 学期		日本語教材研究 2	
3 年次 2028 年度	第 1 学期		日本語指導法 1	
	第 2 学期		日本語指導法 2	
	第 3 学期		日本語教育実習	
	第 4 学期		(第 3・4 学期またが りて履修)	日本語教育演習
4 年次 2029 年度	第 1～4 学期			
	3 月末	コース修了 (コース修了 は、所属学部の 卒業と同時とな ります。)		

注) ★マークの科目は、日本語教育コースの履修が許可される前でも履修可能です。

3 修了要件について

入学年度によって修了要件が異なりますので、該当する入学年度の表をご参照ください。

各科目の開講曜日時限は、8ページ以降の「4 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割」をご参照ください。

日本語教育コース (2025・2026年度入学者に適用)

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	2026年度開講学期
必修科目	日本語教材研究1	1	1	2年次	第3学期
	日本語教材研究2	1	1	2年次	第4学期
	日本語学概論1	1	1	2年次	第1学期
	日本語学概論2	1	1	2年次	第2学期
	日本語指導法1 ※1	1	1	3年次	第1学期
	日本語指導法2 ※1	1	1	3年次	第2学期
	日本語教育実習 ※2 ※3	1	1	3年次	2026年度開講なし
	日本語教育演習 ※2 ※3	1	1	3年次	第4学期
	日本語教授法概論	1	1	1～4年次	第1学期
	言語と社会	1	1	1～4年次	第2学期
	日本語教育学概論	1	1	1～4年次	第1学期
	第二言語習得論	1	1	1～4年次	第2学期
	異文化の中の心理と支援	1	1	1～4年次	第3学期
	言語学概論	1	1	1～4年次	第3学期
選択科目	「登録日本語教員実践研修・養成課程コアカリキュラム」で示された養成課程の「必須の教育内容」49項目の関連科目から選択		12	1～4年次	全学期
合計			26		

注)

1. 「日本語教材研究1」を既に履修した者のみが、表中※1の科目を履修することができます。
2. 「日本語指導法1,2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
3. 「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」(表中※3)は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認められません。
4. 必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが必須です。

4 2026年度副専攻日本語教育コース対象科目時間割

本コースの対象科目は、下記時間割に掲げている授業科目名・期別・曜日・時限のものに限ります。上記時間割に掲げている科目と同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なる科目を履修した場合は、本コースの修了要件単位に算入されません。

各科目の詳細は、シラバス等をご参照ください。

科目によっては、受講要件を定めている場合がありますので、備考欄に記載のない科目についても、予めシラバスを十分にご確認ください。

<必修科目> (全て全学共通科目)

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
日本語教授法概論	1	914604	1	月	1・2	
日本語指導法1	1	914601	1	火	5・6	
日本語教育学概論	1	914610	1	木	3・4	
日本語学概論1	1	914613	1	金	3・4	
第二言語習得論	1	914611	2	月	1・2	
日本語指導法2	1	914603	2	火	5・6	
言語と社会	1	914602	2	木	3・4	
日本語学概論2	1	914614	2	金	3・4	
日本語教育実習【p.12注）2参照】	1	(2025年度以降入学者に対しては開講なし)	3・4	水	3・4	コース2年目以降で履修
異文化の中の心理と支援	1	914612	3	月	5・6	
日本語教材研究1	1	914605	3	水	3・4	
言語学概論	1	914615	3	木	3・4	
日本語教育演習【p.12注）2参照】	1	914609	4	火	5・6	
日本語教材研究2	1	914606	4	水	3・4	

<選択科目のうち全学共通科目>

授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	備考
アカデミック・ライティング	1	912293	1	月	3・4	
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912276	1	水	5・6	
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912201	2	火	7・8	受講要件あり (詳細はシラバス参照)
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912277	2	水	5・6	
人間生活と心理学	1	912272	夏季集中			
ドイツ語海外研修(夏季)【p.12注）2参照】	2	913861	夏季集中			
中国語海外研修(夏季)【p.12注）2参照】	1	913863	夏季集中			
韓国語海外研修【p.12注）2参照】	1	913865	夏季集中			
語学研修・サマーコース【p.12注）2参照】	1	912052	夏季集中			
コミュニティエンゲージメント概論	1	912009	3	月	7・8	
ユニバーサルデザイン	1	912102	3	月	7・8	
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912278	3	水	5・6	
異文化組織で働く	1	912208	3	木	3・4	英語で実施
国際協力とプロジェクト管理	1	912209	4	木	3・4	英語で実施
※外国語学習アドバイジングの基礎	1	912202	4	木	3・4	受講要件あり (詳細はシラバス参照)
留学生支援ボランティア実習【p.12注）2参照】	1	912279	4	水	5・6	
近代日本美術の歴史と世界	1	912105	4	木	5・6	
グローバル社会における日本語教育	1	912213	4	木	7・8	日本語・英語併用で実施
人間関係・コミュニケーションの黄金律を学ぶ	1	912287	4	木	7・8	
フランス語海外研修(春季)【p.12注）2参照】	2	913862	春季集中			
中国語海外研修(春季)【p.12注）2参照】	1	913864	春季集中			
語学研修・スプリングコース【p.12注）2参照】	1	912053	春季集中			

<選択科目のうち専門教育科目>

重複履修の可否は、所属学部の教務担当にお問い合わせください。

開講学部と異なる学部に所属する学生については、履修の可否や履修方法については各科目のシラバスを、卒業要件上の取り扱いに関する詳細は所属学部の学生便覧を確認してください。

開講学部	授業科目	単位数	講義番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
文学部	人文学概説（言語学）	2	016105	3・4	水	3・4	栗林 裕
	人文学概説（言語学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	片桐 真澄
	人文学講義（言語学Ⅰ）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	栗林 裕
	人文学講義（言語学Ⅱ）	2	016213	1・2	月	5・6	片桐 真澄
	人文学概説（現代日本語学）	2	016106	3・4	水	3・4	未定
	人文学講義（現代日本語学）	2	016218	3・4	月	3・4	中東 靖恵
	人文学講義（現代日本語学）	2	016222	1・2	月	7・8	堤 良一
	人文学講義（日本語教育学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	堤 良一
	実践演習（現代日本語学）	2	016313	1・2	月	3・4	中東 靖恵
	人文学概説（日本語学Ⅰ）	2	017109	3・4	木	7・8	久保菌 愛
	人文学概説（日本語学Ⅱ）	2	017110	1・2	金	5・6	京 健治
	人文学講義（日本語学）	2	017205	3・4	月	3・4	京 健治
	人文学講義（日本語学）	2	(2026年度 開講なし)	-	-	-	久保菌 愛
	人文学概説（文化人類学 b）	1	(2026年度 開講なし)	-	-	-	-
	異文化体験（文学部）	2	016501	特別	-	-	堤 良一・久保菌 愛
ことばと異文化	1	019822	1	火	1・2	シミッチー山 下ミラ	
教育学部	中等英語科内容構成論Ⅰ（リスニング・スピーキング）	2	02B208	3・4	水	1・2	Scott Gardner
	中等英語科内容論（英語学の特論応用）	1	02B030	2	木	1・2	阿部 真理子
	中等英語科内容論（英語学の研究）	1	02B028	4	木	7・8	阿部 真理子
	中等英語科指導法基礎 A	2	02B202	3・4	金	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法基礎 B	2	02B203	3・4	金	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法Ⅰ A	2	02B540	1・2	木	5・6	小山 尚史
	中等英語科指導法Ⅰ B	2	02B541	1・2	木	5・6	小山 尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B450	2	月	3・4	小山 尚史
	初等英語科指導法Ⅰ	1	02B451	1	月	3・4	小山 尚史

開講 学部	授業科目	単 位 数	講義 番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
教育学 部	初等英語科指導法Ⅱ	1	02B453	4	月	5・6	小山 尚史
	中等英語科内容構成論Ⅰ（文化の多様性と異文化理解）	2	02B207	3・4	火	1・2	山形 悟史
	中等英語科内容論（異文化理解の基礎）	1	02B545	+ 木 7・8 夏季集中			山形 悟史 中西 洋平
	中等英語科内容論（異文化理解の応用）	1	02B544	2	木	7・8	山形 悟史
	中等英語科内容構成論Ⅱ（多様な文化の受容と発信）	2	02B898	1・2	水	1・2	山形 悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B141	4	水	3・4	山形 悟史
	初等英語科指導法基礎	1	02B142	3	水	3・4	山形 悟史
	中等英語科指導法ⅡA	2	02B542	3・4	月	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法ⅡB	2	02B543	3・4	月	3・4	小山 尚史
	中等英語科指導法開発ⅠA	2	02B892	1・2	木	3・4	小山・竹野
	中等英語科指導法開発ⅠB	2	02B893	1・2	木	3・4	小山・竹野
	初等国語科指導法基礎	1	02B156	3	水	3・4	浮田 真弓
	初等国語科指導法基礎	1	02B157	4	水	3・4	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅠA	2	02B592	1・2	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅠB	2	02B593	1・2	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅡA	2	02B594	3・4	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法ⅡB	2	02B595	3・4	火	7・8	浮田 真弓
	中等国語科指導法基礎A	2	02B244	3・4	金	3・4	池田 匡史
	中等国語科指導法基礎B	2	02B245	3・4	金	3・4	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅰ	1	02B476	2	水	3・4	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅰ	1	02B477	1	水	3・4	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅱ	1	02B478	4	月	5・6	池田 匡史
	初等国語科指導法Ⅱ	1	02B479	4	木	5・6	池田 匡史
	中等国語科内容論（国語学概論Ⅰ）	1	02B251	1	月	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学概論Ⅱ）	1	02B252	2	月	5・6	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学Ⅰ）	1	02B603	3	木	7・8	又吉 里美
	中等国語科内容論（国語学Ⅱ）	1	02B604	4	木	7・8	又吉 里美
	中等国語科内容論（文章表現）	1	02B612	4	火	3・4	又吉 里美
	中等国語科内容論（音声言語）	1	02B596 (2026年度 開講なし)	4	火	3・4	又吉 里美
	中等国語科内容論（近現代文学演習Ⅰ）	1	02B923	3	火	5・6	木村 功
	中等国語科内容論（近現代文学演習Ⅱ）	1	02B924	4	火	5・6	木村 功
	中等国語科内容論（漢文学演習Ⅰ）	1	02B921	1	月	3・4	土屋 聡

開講 学部	授業科目	単 位 数	講義 番号	学期	曜日	時限	授業担当教員
教育学 部	中等国語科内容論（漢文学演習Ⅱ）	1	02B922	2	月	3・4	土屋 聡
	中等国語科内容論（古代文学Ⅰ）	1	02B607	1	木	7・8	松田 聡
	中等国語科内容論（古代文学Ⅱ）	1	02B608	2	木	7・8	松田 聡
	中等国語科内容論（国文学概論Ⅰ）	1	02B605	3	火	5・6	松田 聡
	中等国語科内容論（国文学概論Ⅱ）	1	02B606	4	火	5・6	松田 聡
G D P	Sociological Imagination	2	131070	1	月・木	7・8	宮川 陽名
	Global Sociology	3	131071	3・4	火	7・8	宮川 陽名
	Korean Diaspora	3	131075	3・4	水	9・10	鄭 幸子
	Topics in Japan and Beyond I	3	132060	1・2	火	7・8	鄭 幸子
	Topics in Japan and Beyond II	3	(2026年度 開講なし)	-	-	-	鄭 幸子

注)

1. 授業の形態については、原則対面授業といたしますが、オンライン方式の授業を行う場合があります。
2. 同一名の全学共通科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。また、※印以外の科目でも、既に単位を修得した科目は、重複して履修することができません。ただし、「留学生支援ボランティア実習」、「ドイツ語海外研修（夏季）」、「中国語海外研修（夏季）」、「韓国語海外研修」、「語学研修・サマーコース」、「フランス語海外研修（春季）」、「中国語海外研修（春季）」、「語学研修・スプリングコース」は、既に単位を修得していた場合でも、重複して履修することができます。本コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。また、「日本語教育実習」及び「日本語教育演習」は最大2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認められません。